

令和8年度（公共）シラバス

教科	公民	科目	公 共		
単位数	2	学年	2	類型	共通
教科書	高等学校 改訂版 公共 (第一学習社)		副教材	最新図説 (浜島書店)	
学習目標	1 現代社会の諸課題について、政治・経済・社会・文化・倫理など様々な観点から探究し、時事的な問題を切り口に現代社会に対する興味・関心を高める。 2 資料の収集方法や活用の仕方、レポートのまとめ方など学び方を身に付ける。 3 現代社会と自己との関わりに着目し、いかに生きるかを主体的に考える。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私達 第2章 人間としてのあり方生き方 第3章 基本的原理	・青年期の意義について理解するとともに、自らの自己形成の課題として問題をとらえる。 ・思想史の流れを学ぶだけでなく、現代社会へアプローチしながら、よりよい生き方を考える。 ・民主政治の原理について、自分自身の生活と直接結び付けて考察する。
2 学期	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私達 第2章 政治的な主体となる私達	・現代的なテーマの新聞記事や判例を取り上げ、人権の歴史や人権尊重の意義を考察する。 ・選挙制度や地方自治のしくみ、安全保障の基本理念などについて理解し、主権者として将来どのように政治や地域社会と関わっていくべきかを考える。 ・憲法と人権の学習をふまえて、法の基礎・基本的内容を理解する。特に、売買・金融・雇用の場面での契約など日常生活の法的関係や、具体的紛争の調整・解決の方法について考察する
3 学期	第3章 経済的な主体となる私達 第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私達	・消費者問題や労働問題、社会保障の問題など、現代経済における具体的な課題を取り上げて、豊かな生活を実現するための在り方生き方を考える。 ・「課題探究活動」のための5テーマの「課題例」に対して、系統的に学び方の習得ができる「スキル」を活用して主体的に学習する方法を習得する。

評価の観点及び内容、評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	現代の諸課題を考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解するとともに、倫理的主体として活動するために必要な情報を効果的に調べまとめる。	考查 確認テスト
思考・判断・表現	事実をもとに多面的・多角的に考察して公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	考查 確認テスト 発表の内容
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に入れ、国家及び社会の形成者として、現実社会の諸課題について、主体的に解決しようとしている。	授業態度 授業中の提出課題 準拠ノート